

SMF
Press

2011年度事業も各地でにぎやかに展開

川口・大宮を歩く

鑄物の街・川口、鉄道の街・大宮、ともに鉄に縁の深い「ものづくり」の街です。日本の近代化を象徴する「鉄」に関わって、成長し、変化してきました。

そんな二つの街で、SMF関連の街歩きイベントが連続して企画されました。10月8日（土）の川口「銭湯のある街歩き」、同じく23日（日）の「大宮アート散歩」です。川口は庶民文化研究家の町田忍さんが講師をつとめる企画。大宮のほうは自分のナビゲートで、秋の二日を歩きました。



▲講師の町田忍さん（左）と街のおじさん。

まずは川口から。この街歩きは、「工場と銭湯」-川口へのオマージュ-というKAWAGUCHI ART FACTORYでの展示会の関連イベントとして行われました。キューボラの街と言われるように、屋根の上にキューボラを突き出した鑄物工場が多く立地していた川口。そこで働く人々にとって、仕事を終えた後の銭湯というのは、なくてはならないものだったと、町田さんは語ります。銭湯の密度という意味では、首都圏でも指折りのエリア



▲前村湯のタイル画。



▲元郷湯の煙突とKAWAGUCHI ART FACTORYの展示を観る参加者。



そして大宮です。直前に川口を歩いたために、ものづくりの街という視点が加わりました。川口が多くの鑄物工場の集合だったのに対し、大宮は国鉄大宮工場という圧倒的な存在が君臨し、鉄道の分岐点という意味でも、人とモノの一大集積地でした。さらに氷川神社というコスモロジカルな聖域に裏打ちされた、厚みのある都市であり続けています。

そんな大宮のラフスケッチに、細部を描いていくのには歩くという作業が必要



▲佐藤栄太郎の彫刻「旅立ち」

です。参道から路地へまた大通りへと道を折れるたびに、時間と空間がジャンプするようです。駅近くの商店街や一部ビルの内部も含めた目くるめくような変化



だったそうです。それが、時代の変化を受け、鑄物工場が高層マンションにとって変わり、銭湯も激減してきたのです。かろうじて残る、熱かった時代の痕跡を、街のディテールに読み解いていく街歩きでした。

金物屋さんの店頭でなつかしい品々を見つかったり、KAWAGUCHI ART FACTORYでは、川口の銭湯を写真や地図・銭湯ペンキ絵から浮かび上がらせた展示に見いたり、街角で出会ったおじさんに歴史を語っていただいたり、最後はみんなで銭湯に入って、時間までスリッパしたような体験をしました。

から、氷川様から盆栽町あたりの落ち着いた空間、さらには大宮駅西口の新しい街区まで、大宮の迷宮をめぐりました。参加者の歩計から推測すると、15キロにもおよぶ強行軍でした。

大宮については、さらに情報を集めて、アートマップにまとめる予定です。（Y.A.）



▲氷川神社参道入口



▲アクロスビル、永峰総合計画事務所

SAITAMA
連携美術館情報

うらわ美術館

「アートとブックのコラボレーション展 出会いをめぐる美術館の冒険」 11/23~1/22

うらわ美術館の「本をめぐるアート」のコレクションと北九州市立美術館の近現代美術のコレクションが、多種多様にコラボレートします。

埼玉県立近代美術館

「アンリ・ル・シダネル展」 11/12~2/5

フランスの画家、アンリ・ル・シダネルの全貌を、日本で初めて紹介する展覧会です。薔薇の庭、木漏れ日などの柔らかな雰囲気、観るひとを優しく包み込みます。

入間市博物館

「第15回むかしのかしらと道具展」

12/17~2/12

市民のかしらや地域の様子をたくさんの生活用品や写真で紹介。石臼や手作り玩具などの体験コーナーを設け、休日には親子で楽しめるイベントも多数開催されます。

川越市立美術館

「ミロ展」 11/5~12/11

スペインを代表する芸術家、ジョアン・ミロの初期から晩年までの版画作品を一堂に展示します。

今回は、川越市立美術館をピックアップします。

来館した日は、ちょうど川越ミュージアムロード Weプロジェクトの真っ最中。札の辻交差点から商店街に入ると、時の鐘が描かれた色とりどりの旗が導いてくれます。ワークショップで子どもたちが作った一枚一枚の旗を、ほほえましく見ているうちに、美術館に到着しました。

地下の展示室へ向かうとすると、階段にきれいなオブジェを発見！これは、昨年度結成された美術館ボランティアの方が主導して開催された、ワークショップの作品だとか。クオリティの高さに驚かされるとともに、ボランティアの方たちの充実した活動ぶりがうかがえます。

そしていよいよミロ展の会場へ。展示室に入ると、まずカラフルな色彩が一気に目に飛び込んできます。そして、彼の愛した故郷と自然をモチーフとした抽象表現により生み出された独特な造形に、心躍らされます。さらに作品を近くで見ると、様々な技法が巧みに組み合わせられ、一つ一つ異なる表情を見せる作品の奥深さを感じ、いつまでも見ていくことができました。

展示会会期中には、講演会やギャラリートーク、ワークショップなど多数のイベントを開催。企画展・常設展の他にも、「タッチアートコーナー」や、毎月第4土曜日に開催される「ジュニア・アートスクエア」など見どころはつきません。

街歩きとともにアート鑑賞、何度でも訪れたい川越の街でした。（H.O.）

（取材協力：川越市立美術館 田中晃）

SMF 体験レポート
「さいとう」が行く!

入間でみつけたきっかけと可能性

入間市博物館ALITの「お茶まつり」とともに開催されるSMFの秋の恒例イベントの時期がやって参りました。10月15日(土)・16日(日)、天気は雨と晴れを半分半分仲良く分け合った2日間でした。今年もお茶まつりでは、「ダンスユニット転々」によるダンスと新久離子(あらくばやし)や俳句とのコラボ、博物館ボランティアの皆さんによるフリーマーケット、蚊帳の中で虫を作ったり、書のワークショップなど入間ならではの企画が盛りだくさん!! その中でも今回は学生による灯籠デ

ザイン企画に焦点を当ててみたいと思います。参加して下さったのは東京藝術大学の工芸科とデザイン科の学生さんです。二人とも入間市在住の生粋の入間っ子。灯籠のデザインをお願いすると、両名とも快く了解してくださいました。

灯籠を見に来られた方からは「それぞれ違って、とてもきれい。」「美術系大学の学生さんは面白いね。」と嬉しい感想を頂きました。

前述の二人の学生と話しているとき、美術系大学生には問題があることに気

付きしました。それは大学外における積極的な交流が少ないこと。自分の専攻分野以外にはあまり興味を持たないことです。二人はこのようなイベントに参加するのは初めてだったということでした。今回は灯籠のデザインだけでなく、当日も駆けつけて、作家さんと蚊帳と一緒に設営したり、書のワークショップに参加したりと楽しんで参加して頂いた様子。「参加してとても楽しかったし、たくさんの人のお話が聞けて勉強になりました。他の分野の作



品も見方が変わりましたし、自分の作品の感想を直接聞けるのがとても良かったです。」と話してくださいました。この感想からも分かるように、多世代の方と交流することによって刺激をもらい、視野を広げることができます。そして、それは新しい取り組みへのきっかけにつながるのです。SMFも多くの人と何か面白いことができないかと常に思索中です。そんなSMFと学生がコラボレーションすれば、次への一步を生み出すことができるのではないのでしょうか? 1+1が4にも、5にもなる可能性を感じた二日間でした。(H.S)



みんなでつくるニューミュージアム 出会いと発見・交流と発信の基地として

埼玉県立近代美術館常設展示室の「MOMASコレクション」に、SMFがメインを飾るコーナーが出現しました。まず目をひくのは事業のシンボルでもある色とりどりの風車。虫の音にも似た微かな音を奏でて回り、さまざまな出会いと出来事運んだアート風の思い起こさせます。その

動きに呼応するように床面に渦を巻く写真、突き当たりの壁には2009年・2010年の活動記録とダンスパフォーマンスの映像が並び、どこに視線を投げても、プログラムに参加したたくさんの方々の笑顔があります。

さて、年齢や立場やジャンルの枠を越

えて仲間が集まり、ミュージアムをキーステーションに、社会に有効な芸術活動基盤づくりを模索してきたSMFですが、これからの未来へ向けて、どんな風を起こすことができるでしょう。12月初旬には美術館と地域との新しい関係づくりとして、アーティスト・商店街・街の人がコラボする「回遊美術館2-北浦和西口銀座商店街アート化計画」を開催予定。その後も息もつかせぬ勢いで、楽しい企画が目白押しです。詳細はテイクフリーの各種チラシをご覧ください。加えて新しくできたガイド・リーフレットにも注目です。身近な場所でアートを楽しみたい、または支援したい人へ向けて、SMFの概要と活動内容を分かりやすく紹介していますので、是非お手にとってみてください。

展示にはSMFのほか、さまざまな場面で美術館の運営を支えるボランティアの活動記録もあります。こうして多くの方々と協働し、従来の名品展示型のイメージから事業の幅と存在意義を広げ



▲壁面を飾るメッセージカード。

つつあるミュージアム。あなたにとってはどんな場所ですか。コーナーの一角には、書きもの机とポストがあり、訪れた人からの彩り豊かなメッセージが折り重なっています。展示の会期は今年のクリスマス(12月25日)まで。子どものころサンタさんに願いをしたように、あなたのミュージアムに寄せる気持ち、思い描く夢を届けてみませんか。(A.O.)

編集者のつぶやき...

[S]すてき [M]まち [F]ファインド・プロジェクト? (Y.A.)

芸術の秋真々盛り! (H.O.)

私も美術大学の学生です。やれることからどんどんやっていきたいです!! (H.S.)

[S]霜月 [M]睦月 [F]冬こそ本番! ますます盛り上がっていきましょう☆ (A.O.)



SMF INFORMATION

回遊美術館Ⅱ-北浦和西口銀座商店街アート化計画

2011年12月3日(土)~11日(日) 10:00~17:00 北浦和西口銀座商店街、埼玉県立近代美術館

埼玉県立近代美術館「MOMAS空間音響ライブ vol.4」音楽という表現の拡がりとともに2011

22個のスピーカー群による電子音響音楽・コンピュータ音楽の空間音響投影 2011年12月10日(土)・11日(日) 埼玉県立近代美術館2階講堂

MOMASコレクションⅣ アーティスト・プロジェクト 大浦一志:自然と人間-雲仙普賢岳との20年

2012年1月7日(土)~4月15日(日) 埼玉県立近代美術館常設展示室(MOMASコレクションⅣの一環として開催)